

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

NETWORK NASU

CHARTERED 1995



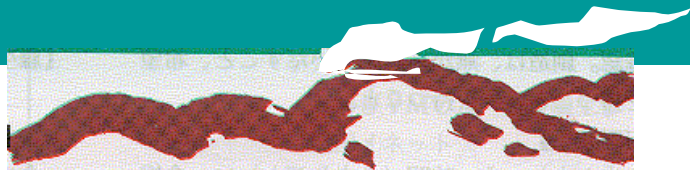
那須ワイズメンズク

2022~2023年度 No.275

11月報

那須クラブ会長 主題

地域につなげ那須ワイズ IV



強調月間：100周年祝賀
BF

今月の聖句 (ワイズ国際聖句)

父よ、あなたが私たちの内におられ、私たちがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。(後略) ヨハネによる福音書 17:21

11月第1例会(日本文化を知ろう 茶道部長公式訪問)

日時：11月23日(水・祝日)午後2時~

場所：遠山宗定師匠宅 那須塩原市二区町369

内容：日本の文化を知ろう・お茶の会 部長公式訪問

会費：1,000円

参加者は、16日(水)までに河野会長(090-1997-2077)に連絡。

コロナ対策として、検温とアルコール消毒を行います。「三蜜」にならないように注意

司会：田村 修也 副会長

- | | |
|------------|-----------|
| 開会点鐘 | 会長 河野 順子 |
| 会長挨拶 | 会長 河野 順子 |
| ワイズソング斉唱 | 一同 |
| ワイズ信条の朗読 | 一同 |
| 聖書朗読・祈禱 | 田村 修也 メン |
| ゲスト紹介 | 会長 河野 順子 |
| 部長挨拶 | 部長 大久保 知宏 |
| 茶道についての講話 | 遠山宗匠師 |
| 茶道体験 | 茶室にて |
| ワイズ・YMCA報告 | |
| YMCAの歌 | 一同 |
| 閉会挨拶・点鐘 | 会長 河野 順子 |

地図は別ページにあります。

2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) K・C・サミュエル(インド)

「フェロシップとインパクトで次の100年」

アジア太平洋地域会長：(AP) チェン・チ・ミン(台湾)

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事：(RD) 佐藤 重良(甲府21)

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

北東部長：大久保 知宏(宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

クラブ役員

- 会長：河野 順子
副会長：村田 榮・田村 修也
書記：藤生 強
会計：村田 榮・鈴木 保江
担当主事：平山 雄大
ブリテン：田村 修也・村田 榮

10月例会データ(出席率：85.7%)

在籍者 7名
出席者 4名 メイキャップ 2名
メネット 2名 ゲスト 3名

11月 Happy Birthday

11/14 河野 順子ウィメン

・12月第2例会(役員会)

日時：11月25日(金)午後4時から
場所：田村副会長宅・ZOOM

・12月第1例会(クリスマス礼拝)

日時：12月10日(土)午後6時~
場所：日本基督教団 西那須野教会

・北東部大会(ZOOM)

・故 原田時近ワイズ1周年記念会(日光 オリーブの里)

日時：12月3日(土)午後1時から

巻 頭 言

ワイズの仲間いりして

張 蔚麗^{うえり}

The time passed so faster 今日では11月にしては異常に暖かく明るい日でした。

私が2019年春にL.A.から来ました。大田原市に在住してもう3年半過ぎました、この時期に国際医療福祉大学大学院の理学療法修士を修得し、室井病院や那須赤十字病院などに就職しながら（河野順子会長さんの紹介で）那須ワイズのメンバーとして活動しています。この一年間に那須ワイズの活動が私に大きな影響を与えた。毎回の活動とても充実感じており、特に10月のアジア学院の収穫感謝祭に他国の学生と地域の人々と互いに接する事ができて、またワイズのメンバーと協力応援合った事が出来てとてもいい感謝です。その中にこのイベントによって人々の共有および強化される文化と社会的の信念と価値観は影響力の社会的パターンであることも認識しています。

人生において、物事は私たちの周りで起こり、私たちにも起こりますが、本当に重要なのは、あなたがそれにどのように反応するか、そしてそこから何を心得るかだけです。人生とは、私たちが経験するすべての苦勞を学び、取り入れ、ポジティブなものに変換することです。私たちはその見返りに、助けた行為の見返りを心得るのです。私の信語にイエス・キリストの「信・望・愛」とワイズメンズの価値観に「イエス・キリストの教えに基づき、愛、思いやり、犠牲、無私を基本的として」いる事がよく分かって来ます。このような楽しく社会貢献できるクラブを、これからより一層仲間と共有していきたいと思います。



10月例会 於；アジア学院 2022.10.15

10月第1例会(アジア学院バザー)報告

日時：10月15日(土)午後9時～

場所：アジア学院

出席者：田村、村田、張、の各メンバー、田村、村田メネット、ゲスト：原田、原田さんのお友達、大浦(元YMCAスタッフ)、8名

2年ぶりに開催されたアジア学院のバザーに那須ワイズは、参加することができました。

それに先立ち、10日(日)午前9時30分より、田村副会長宅に集合し、今までに集まっている品物の整理を行った。集まったのは、河野、田村、張、村田のメンバー、田村、村田メネット、原田さん、河野バネットの8名でした。衣類の中で売り物になるものとウエスにするものに分けた。ウエスにするものは、御園那須老人ホームに寄付するようにした。そしてそれを使いやすい大きさにバザーの会場で時間が空いた時に切ることにした。

当日は、現地に、9時集合で準備を行った。準備と販売には私たちだけでなく、助っ人お三人の働きがあったことを目記明記しておきます。

いざ販売が始まってみると、人数制限がされているので、そんなに忙しくないが高をくくっていたのに反して、忙しいこと忙しいこと。

布を切る準備をしていたが、そのことをする暇ありませんでした。

アジア学院の生徒さんたちがお土産に買ってくださいました。その時に活躍してくださったのが張さんの英語でした。私たちでは、片言であったのが張さんの流暢な英語で、学生たちとの意思疎通もうまくいき、多くの買い物をしてもらいました。我々の予想を超える売り上げをすることができました。感謝です。



とちぎYMCAチャリティーラン(特別例会)報告

日時：10月9日(日)午前9時から

場所：道の駅宇都宮ろまんちっく村

参加者：鈴木、張、村田のワイズ

報告 鈴木 保江

結構寒かったな。久しぶりにワイズの方に会えること宇都宮に出かけることドライブ、沢山の方とのふれあい……。本当にたくさんのわくわくを感じながら参加しました。往年の先輩たちは変わらず元気。「相変わらず、毒舌はかわらないね」の話で一気に入つものワイズの例会を思い出しました。

沢山の参加者が集まる、壁のないそんなイベントとなるチャリティーランはいつ行ってもなんかホッとするものですね。子供が小さかった時に行って以来でした。ゴールで待つときは、思わず目頭が熱くなるくらいの思いでした。年を取ったものです。楽しかったことばかりです。

那須ワイズではシイタケ昆布の販売を行いました。私のパワーバランスに負けたのか、例年より売れ行き好調でした。又、来年、数を増やしていかせていただきます。

そのあと、後日談。隣でイカ墨めんたいパンを販売していたパン屋さんがありました。11月になり、長男の親知らずの抜歯後、抜糸に行った歯科医院の目の前にそのパン屋さんがあり、帰りに寄ってみました。確認したところ間違いなくチャリティーランに行っていたそうです。なんと息子はそのパンと私を引き合わせてくれたんですね。最近の最高の出会いでした。また来月、親知らずを抜きに行くのが楽しみになりました。これが、人との出会いですね。やっぱりワイズがいいなとそっと笑顔になりました。



【第15回とちぎYMCAインターナショナルチャリティーラン2022報告】

この度は、標記大会の開催趣旨をご理解頂き多くの皆様よりご支援ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。何より今大会は「なんとか開催できた」という色合いの濃いものでした。この大会が

企業と市民の協働として年々県内に拡がりをみせ、障がい児・者と全ての人々が共に健康で幸せな暮らしができるノーマライゼーション社会づくりの一助となることを願い、これからもご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

尚、とちぎテレビにてイベントの様子を地域ニュース報道として放送していただきました。

略儀ながら取り急ぎ書面により大会開催のご報告とご協賛へのお礼を申し上げます。誠に有難うございました。

11月第2例会（役員会）の報告

日時：10月28日（金）午後4時から

場所：田村副会長宅

議題

1. 人数制限の中でのアジア学院のバザーについて
忙しく、予想を上回る売り上げを上げることができた。助っ人お三人に加えて、張さんの働きが大きかった。

2. 11月例会について

テーマは茶道を通して、日本の文化に触れる。日時は、11月23日（水・祝）。那須塩原市二区町630の遠山宗匠宅とする。北東部長の公式訪問。ゲストは、ユースリーダー等。謝礼は、5,000円。アシスタントの方々には、3,000円。部長へのお土産は、河野会長が準備する。メンバーは、1時30分集合で、道の案内をする。

3. 12月例会について

12月10日（土）午後6時から、日本基督教団西那須野教会で行う。コロナ感染を考え、前年度同じく食事はなし。招待者は、養徳園、ユースリーダー他。お話は潘牧師、オルガニストは、木村真希子に依頼をする。謝礼は、5,000円、3,000円。クリスマス献金、養徳園に20,000円、アジア学院に10,000円、那須聖園老人ホームに10,000円。

4. 12月役員会について

11月25日（金）午後4時から、田村副会長宅で行う。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第114回）

田村修也

この不毛の地に開拓が着手されたのは、二つの大きな要因があったからです。一つは、大きな時代の変化で、今から139年前、日本は明治維新という政治革命が起りました。それまでの武士の時代が終

わる迄、江戸時代は三百諸侯と呼ばれ約300の藩に分かれて、コメの生産高によって各藩の財政規模がランク付けられていました。それで各藩とも領地内にある開拓可能な土地は、殆ど開拓し尽くされていました。しかし、那須野が原のような広大な原野の開拓は、財政的にも、人材的にも、巨額な経費と高い技術を必要としたため、取り組むことが出来なかったのです。こうして、江戸時代末期までには、各藩では、領地内の開墾可能な原野は殆ど開墾し尽くされ、全国的にも、青森県の三本松原、福島県の安積が原、そして、栃木県的那須野が原などの広大な原野だけが、開墾できないで残されていました。

日本は明治維新によって、近代国家として世界に仲間入りするために、急速に国家体制を整備し、近代産業を興し、農業生産を拡充して国家財政を確立することが緊急の課題でしたし、明治維新で職を失った旧武士階級への救済対策が急務でした。そのため、農業政策として開拓可能な未利用地の現地調査を全国的に行い、南一郎平他の技術者を青森県、福島県、栃木県に派遣しました。南一郎平さんは那須野が原について「開墾の適否と移住民の適否として調査した結果、開墾好適の地と判断する」という報告書を提出しました。これによって、那須野が原は国の開拓推進の候補地に認定されることになったのです。こうして、国が近代国家として統一されることによって、初めて、巨額な資金と高い技術を、必用な所へ重点的に、集中的に投入することが出来るようになり、長年の悲願を達成することが出来る背景が整ったのです。

「水の無い広大な大地に、水を引いて開墾する」という大事業に貢献した沢山の方々の中でも、「印南丈作さん」「矢板 武」さん、「鍋島 幹さん」の三名の方々は、特に大恩人と言われる方々です。若しこの三名の方々の、出会いが無かったなら、そして、もう一人の大恩人「南一郎平」という「九州佐賀県で農業用水確保のため、親子二代にわたって取り組んで、それを克服した大技術者」がいなかったら、この「那須疏水の開墾と那須野が原開墾」という大国家プロジェクトは実現できなかったでしょう。また、今日のアジア学院も無かったでしょう。この四名の方々の名前は、是非覚えて下さい。

この方々は、国からすれば「農村地方の一地域指導者」に過ぎませんでした。地域の名主として、また県知事として、地域住民の厳しい食料事情に責任を持ち、幾らかでも安心して生活が出来るようにと、命がけで取り組み、遂に、県域全体の地域指導者たちを同志となし、現在で言えば、農林水産大臣

や大蔵大臣、総理大臣はじめ国家の指導者たちを動かして、1万haの荒れ野原を緑の森林と、実り豊かな水田、農民が安心して生活できる農村という自治体・コミュニティーを新たに創設していった、大指導者たちなのです。

もう一つ、何故、このような途方もない巨大な開拓事業に取り組まなければならなかったかという、その最大の動機は、日本列島は絶えず、異常気象、地震、火山の噴火そして降灰、それに続く悪天候、冷害、虫害、伝染病の蔓延、戦争、動乱、分割支配、多重支配など「様々な災害」によって、「飢餓」「餓死」に苦しみ続けてきたという、厳しい現実があったからであります。現在でも、日本と言う国は、「食料が自給出来ない国で、世界中の国々の食糧資源に依存している国なのです。」(以下次号へ続く)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

昨年は、コロナ禍で子どもだけのスポーツデイであった年長組の子ども達にとって、親子でのスポーツデイは、参加者の皆さんだけでなく私にとっても格別のものとなりました。親子で一緒に楽しんでいる姿もですが、親子競技でも、リレーでも、子ども達の違いが見られました。一番という目的のために一心不乱ということではなくて、それぞれが、何々ちゃんらしいという個性的なアプローチが見受けられました。

例えば、リレーの結果ですが、一番でトロフィーをもらったクラスだけでなく、着順に関わらずどのクラスの子ども達も喜び、満足していました。それは、年長組の子ども達が幼いからではありません。年長組の子ども達は、一番は良いに決まっていますけれども、それよりも、みんなが協力し、それぞれ精一杯やり遂げたというプロセスの方が大切だと言う価値観が身に付いているからです。

月曜日に何人かの子ども達に、「リレー、速かったね」と声を掛けましたが、キョトンとしている子どもが多かったです。何故かと考えてみますと、子ども達が、リレーで見せてくれた本当の価値を早くも忘れ、速いことが大切であるという考えに戻っていたことに気づきました。

これからの正解のないVUCAの時代の中で、大切といわれる、折れない心、自己統制力、価値観の違う人とやり遂げる力に代表される非認知能力のベ

ースが出来ていることを確認できたこともうれしく思いました。

このコロナ禍により、ご家庭も保育現場も限界にきている状況はありますが、行事が出来なかった分、このようなことも、子ども達の遊び込みが保障された結果と考えます。現場の教諭にとっては、子ども達の興味、関心に合わせた環境構成に工夫するなど、日々大変でありました。そのような大変さがあったからこそ、教師達のスポーツデイでの、適切な支援、自信をもって説明や応援する姿は輝いており、教諭達の成長を大変素晴らしく思いました。



YMCAだより

【2022年度第34回ユースボランティアリーダーズフォーラムが行われました！】

9月30日(金)～10月2日(日)に東京YMCA山中湖センターにて第34回ユースボランティア・リーダーズフォーラムが開催されました。ユースボランティアリーダーズフォーラムはリーダー歴が2年以内の経験の浅いリーダーを対象に野外活動の場を通して、「今、リーダーに求められること」を普遍のテーマとして行われているトレーニングキャンプです。東日本のユースリーダー約30名が集まりました。基調講演や実際にメンバーになり野外活動に参加し、「今、リーダーに求められていること」についてグループごとに考え、最終日に発表するなど学びを深めていきました。

今年は東京YMCAが主管で行いましたがとちぎYMCAから4名のリーダーが参加しました。また、那須YMCAからはその内1名が参加しました。たくさんのご協力ありがとうございました。

【参加したリーダーの感想】

佐藤彩華(せっぽうリーダー)

フォーラムの3日間はとても充実した日々を過ごさせていただきました。フォーラム初日の朝、期待と

不安を抱きながら東京駅に向かいました。自分がフォーラムに行くのが決まったのがフォーラム当日近くだったので、他のリーダー達の足手まといにならないかと不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、その気持ちはすぐ拭いられました。様々な県から来たリーダー達や個性豊かなスタッフ達と関わるうちに、不安な気持ちよりも楽しい気持ちが高まりました。

ただ楽しいだけではなく、様々なことを吸収できた3日間にもなりました。今回のフォーラムでは「リーダーに求められていること」という一つの議題についてグループで話し合い、それを発表するという課題がなされました。私のグループは全員違う所属のリーダーだったり、学年が異なっていたため、これまで活動してきた内容であったり経験してきたことが違う分、新しい考えを学び合うことが出来ました。

一方で、そのような面が意見のすれ違いとなったりして、話し合いが止まってしまったことも多々ありました。しかし、全員が納得する意見を出すまで話し合ったことで、素晴らしい発表をすることが出来ました。この3日間で話し合うことの大切さや、当たり前ですが、「所属が違えば、ましてや人が違えば考えも異なる」ということを本当の意味で学びました。今回のフォーラムで学んだことは、これからのリーダー会やYの活動だけでなく、将来の仕事でも必要なことです。これで終わりにするのではなく、更に高めていきたいです。



【とちぎYMCAウィンタープログラムが始まります！】

11月11日（金）より、冬休みプログラムの募集受付が始まります。スキーキャンプやデイキャンプなど楽しい企画が盛りだくさんです。是非、沢山の方にお誘い頂き、ご参加お待ちしております！

WEB受付：11/11（金）～

【とちぎYMCA・那須YMCAの11月の予定】

- ・ 11/3（木）全国リーダー研修会@オンライン
- ・ 11/5（土）サタデークラブ@芋ほり・馬頭農村塾
- ・ 11/6（日）キッズネイチャーフェス
- ・ 11/11（金）ウィンタープログラム申込開始日
- ・ 11/19（土）サタデークラブ@ハイキング・御殿山公園
- ・ 11/20（日）Yキッズ@野外炊飯・宇都宮市冒険活動センター
- ・ 11/25～27（金～日）日本YMCA大会@東山荘
- ・ 11/26（土）サタデークラブ@ハイキング・御殿山公園

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名）
2. 学校名
3. 出身地
4. YMCAに入ったきっかけは？
5. 思い出に残った活動とその理由は？
6. 今後の進路は？
7. YMCAに一言

今月は休みます

遠山宗匠宅の地図

